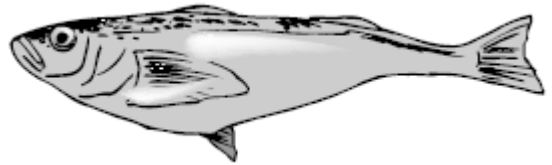


# ハタハタ

*Arctoscopus japonicus*

日本海海域



## 生態

寿命：約5歳  
成熟：オス2歳（体長14cm）以上、メス3歳（体長18cm）以上  
産卵期：11月下旬～翌年1月  
産卵場：水深2～10mのホンダワラ類の藻場  
分布：北海道沿岸、秋田県男鹿半島を中心とした日本海沿岸、朝鮮半島東部沿岸  
生態：水深150～400mの砂泥域に生息。  
食性は端脚類、橈脚類、オキアミ類、イカ類、魚類。

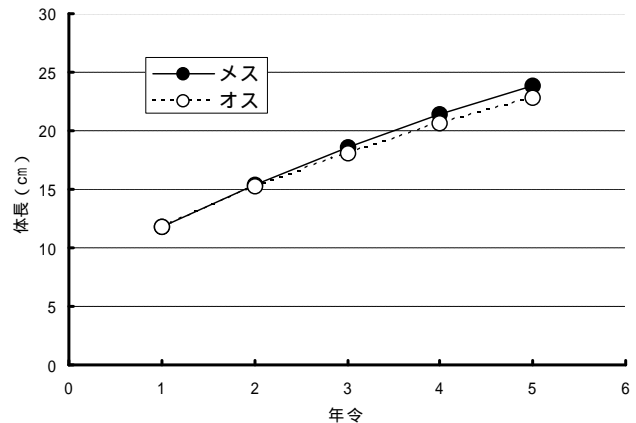


図 日本海海域におけるハタハタの成長

## 主な漁業

定置網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は11月下旬～12月。

## 資源評価

日本海では、昭和40年～50年には1,000トン台の漁獲もあったが、昭和52年以降激減した。近年では増加傾向が見られたが、平成18年以降減少し、平成19年は145トンであった。漁獲変動は卓越年級群によって左右されており、平成15年生まれが近年の漁獲を支えてきた。平成19年11月～12月には、平成18年生まれのオスが大量に来遊し漁獲されたが、全長15cm前後と小型であり、漁獲量は前年より大幅に減少した。

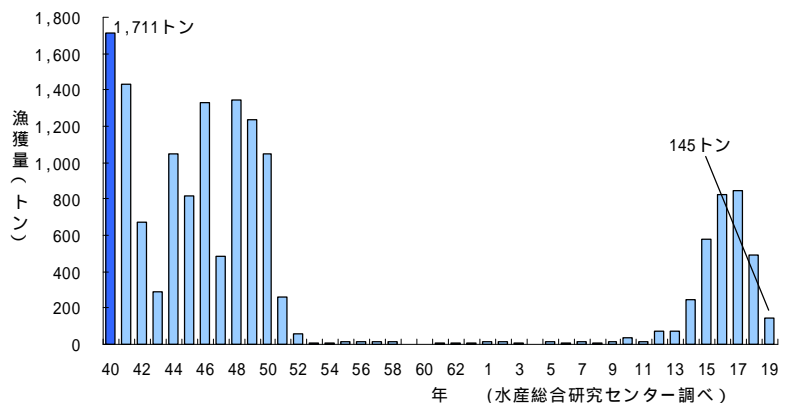


図 青森県日本海海域におけるハタハタの漁獲量及び漁獲金額の推移

## 資源を上手に利用するために

- 北部日本海海域ハタハタ資源管理協定（平成11年4月）
- 底びき網漁業において、全長15cm未満個体の採捕禁止が定められた。
- 日本海北部マガレイ、ハタハタ資源回復計画（平成15年7月）
- 上記の取り組みを継続する必要がある。

## トピックス

平成19年11月に試験船青鵬丸が水深300m付近で採集したハタハタの精密測定結果から、その後の来遊するハタハタの大きさや雌雄の割合などがおおよそ推定できた。

